

合の任務である。吾々は即時この仕事にとりかゝらねばならぬ。

区劃整理に対する斗争の件 (福岡地区委員会提出)

農業恐慌に悩む地主共は、今日各地に於て都市計劃事業を起し、地価の値上りをもくろんでゐる。現在福岡縣下では小倉市、八幡市、若松市、福岡市に於て都市計劃事業が起され、その区域は数千数百町歩と算せられてゐる。二水等の事業は、失業救済と云ふ美名の下に起され、居り、政府より莫大の補助を受け、失業者を安んずる銀を度ふが故に、僅かの手出しで大地主は、ろい利益を得るので、現に八幡市黒崎では工事前は一坪六七円であつた地価が工事によつて四十数円に値上りしてゐるのだ。この地主の利益に反し、吾々小作人には市のためだと云つて、法律を以てに強制的に土地引上を行つて、吾々を餓死させんとしてゐるのだ。又自作農、小地主の如きは、僅か小田を寄附のために決つてしまふのだ。吾々はかゝる地主資本家に都府のよい区劃整理反対を主張すると共に、吾々から強制的に土地を引上げる支配権力に対し、前同として斗争し土地を守せねばならぬ。

実行方法

区劃整理によつて被害を受ける全大衆(小作人、自作農、小地主も含まれて)を以つて、斗争委員会を組織し、組合のゲモノの下に大地主に対し、区劃整理反対の大衆的抗議を行ふこと。関係地のソクリヨウ、拒打を拒否せねばならぬ。この斗争を行ふ場合、主事に従業する労働者と共同斗争を

を行ふことは絶対に必要である。

P10 P.9

農村自衛団組織の件

(青年部提出)

今迄斗争の場合には、自衛活動を行つてきたが、吾々は今日あらゆる場合、自衛活動が必須である。斗争の場合には勿論のこと、演説会、農民大会の場合のみならず、大衆的行動や部落保安のためにも必要である。現在部落保安の名目を出してゐる消防組の運動も、部落保安の目的でなく、小作斗争時期に階級の消滅組と見せ、我々は五五を自衛も守る。

に作りあげねばならぬ。

そのために、あらゆる斗争場面は自衛団を組織し、斗争を通じて之を恒常的のものにまで発展せしめねばならぬ。文部所組をその反動的機能の破カイトよつて我々の例にかくとくすること。スホーツ組織等も自衛団組織に利用すべきである。

婦及部少年部確立の件

(本部提出)

提出理由を答す。

地区委員会確立の件

(筑豊地区委員会提出)